

総合分析

試験区分	一般（前期）
------	--------

制限時間	90分	大問数	全 4 問
------	-----	-----	-------

合格に要する能力（5段階）



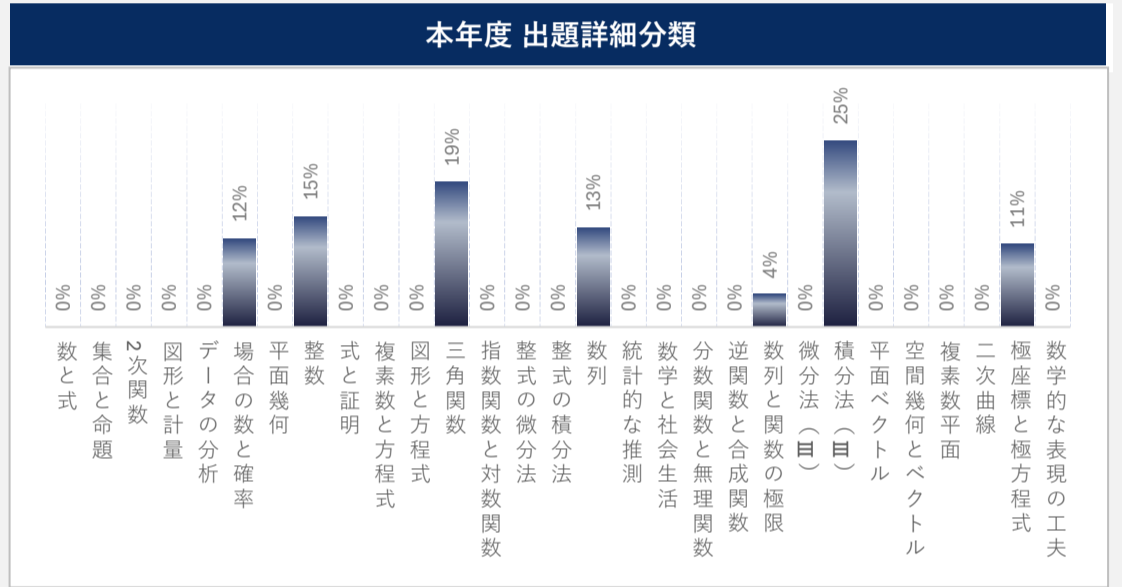
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.6	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.7	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.9	解くことに必要な知識の量
初手力	4.1	初手の難しさ
見極力	4.5	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学Ⅰ	0%
数学A	27%
数学Ⅱ	19%
数学B	13%
数学Ⅲ	29%
数学C	11%

本年度 解答形式	
論述	100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	極方程式と三角関数
第2問	2次不定方程式
第3問	確率漸化式
第4問	立体の体積



特殊問題の有無	記述あり	証明なし
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価			
難度	4.0	最難を5とする問題自体の難度	難しい
分量	100分	完答に要する時間（制限時間は90分）	やや多い
一次合格に必要な正答率（予想）			51%
正答率をさほど要さない			

**入試の特徴と対策**

- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。
- ▶ 代数的な問題の比重が高い。日ごろから答えを出し切る訓練が必要である。

**入試から見る 大学が求める学生像**

昨年度と比較すると穏やかなセットではあるものの大問4は難しかった。制限時間はそこまで厳しくなく、時間切れはないだろうと思われるので、粘り強く悩み、最後まで問題に取り組む精神力のある学生を求めていると考えられる。